

西東京市 公民館だより

田無公民館 南町5-6-11 TEL 461-1170	保谷公民館 柳沢1-15-1 TEL 464-8211
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 TEL 461-9825	ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 TEL 424-3011
谷戸公民館 谷戸町1-17-2 TEL 421-3855	保谷駅前公民館 東町3-14-30 TEL 421-1125



▲猫たちのためのチャリティバザー

猫とこの街で暮らす

土曜日の昼下がり、下保谷四丁目の、あちやしき公園の一角で地面いっぱい色とりどりの品物が並べられ、チャリティーバザーが行われました。このチャリティーバザー、実は猫たちのためのバザーなのです。さ

どのようなことなのでしょう。バザーを主催していた「動物達の幸せを願う会」代表の久世アキ子さんにお話を伺いました。

会の主な活動内容は？
「動物達の幸せを願う会は、2003年に発足しました。活動を始めた当初は、近辺に野良猫が30匹ほどいましたが、不妊手術を行ったり、里親を見つけ

るなどして、現在は9匹までに減少しました」と久世さん。会

他団体との交流も...

久世さんたちと共に、この日のチャリティーバザーに参加していた団体もあります。

「ねこだすけ保谷」は、そのうちのひとつで、西武柳沢駅周辺で活動しています。それぞれの団体の活動を行いながら、野良猫についての情報交換をしたり、互いに助け合いを行っているそうです。このように、市内にある他の団体とネットワークを広げていくことも、地域に住む猫たちを世話する上で大切なこと

です。

野良猫との関わり方について

地域に根ざした活動をされて



▲元野良猫のララちゃん

嵐の日、大晦日、元旦でも休みがないことが大変です」

無事に捕獲された野良猫たちの手術費は、オスで1万円、メスで1万5千円ほどかかるそうです。たくさん野良猫に手術をしないと、それだけ多くの費用が必要で、その上、毎日のエサ代も必要となるので、そのための資金集めとしてチャリティーバザーを年に3回ほど行なっています。

また、バザーに出された品物の一部はフリーピンの学校にも寄付されています。多くの皆さんの寄付品のご協力を、と久世さん。

近年、野良猫を地域の猫として受け入れ、面倒をみようという発想で「地域猫」という言葉も生まれています。

不妊去勢手術の徹底、エサの管理、周辺美化など、地域のルールに基づいて適切に管理し、野良猫の数を今以上に増やさないで一代限りの生をまっとうさせることで、周辺住民の認知を得るという活動です。

久世さんは5月12日、都庁にて「動物愛護推進員」委嘱状を交付され、その活動範囲を広げています。

久世さんたちの活動が着実に実を結びつつある今、不幸な猫を生まないために何ができるかを、みなさんと一緒に考えてみませんか。

詩一丸訪問

保谷製本教室



▲保谷製本教室の皆さん



▲製本された作品たち

ひばりが丘公民館の講座室。保谷製本教室の会員たちは、部屋のあちこちでそれぞれの作業を進めています。原稿の束を締め器で押さえている人。色柄の紙で表紙を貼っている人。

会の成り立ち32年前(昭和51年)にさかのぼります。友人の紀行文を装丁していた代表の宮坂さんは

「当時は図書館もなく、まして児童向けのものは皆無の状態でした。子どもたちによい本を読ませたい一心から、各所で自宅の一部を開放して、文庫活動をしている人たちがいました」

その時代、本は貴重な財産でした。持ち運びすれば傷みもひどくなります。その補修技術を学ぼうという、文庫に関わるお母さんたちの勉強会から、製本教室は生まれました。

今では背表紙の壊れた本を修理したり、サークル活動の記録短歌・詩集などの装丁、製本をしています。月一回、金曜日の午前、午後に活動しています。

野津さんは小学校の学級通信を製本しています。教員をしている娘さんが出している通信です。

「見ていると、娘が頑張っているな、とわかるんです。それが嬉しくて」

綴じ方にも平綴じ、和綴じ、粘葉綴じ、かがり綴じ、と各種あります。紙にも縦目と横目があり、開きがよくなるよう、背が縦目になるように注意します。一冊仕上げるのに三日間を要します。出来上がったものはのりだけで綴じた市販の本より頑丈です。

「失敗もありますよ。落丁や、一頁だけ逆立ちしていたり」

「でも、本ってというのは自分で作れるんだ、とわかったときは嬉しかったですね」

本の内容に丁寧に寄り添い、包み込むような思いで装丁の作業を進めていきます。

「イメージどおり出来上がったときがだいご味です」

会員の皆さんが長い時間をかけて蓄積した製本・装丁の技術や精神を、共に学んでみませんか。新会員を歓迎します。

連絡先 宮坂 423-6418